

野田市立図書館及び野田市コミュニティ会館指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成30年2月6日（火）午後4時15分から午後5時10分まで
開催場所 野田市役所5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、市民生活部長、
生涯学習部長、管財課長、市民生活課長、興風図書館長
欠席委員 行政管理課長
事務局 興風図書館、行政管理課

1 開会

<委員長より開会の言葉>

2 議事

（1）平成29年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書、平成30年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局より平成29年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書、平成30年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書8ページの 地域の特性を活かした取組について、地域特性のある将棋あるいは関根金次郎関係の取組の記載がないが、何か実績はなかったのか。
→ 当館の階上に「関根名人記念館」があり、また、将棋マガジン元編集長であった故清水孝晏氏寄贈の将棋関連本を多く所蔵していることから、将棋に関連した事業の開催を考えていた。29年度の女流名人戦に合わせて行いたかったが、いちいのホール空調改修工事の期間と重なってしまい見送った。
30年度においては、日本将棋連盟関根金次郎支部の御協力をいただき、事業実施に向けて検討したい。
- 関根金次郎関係は30年度の事業として考えているようだが、要望としては、特別展示を行うのではなく、手持ちの資料等を工夫して展示あるいはチラシを作成するなど日常的にこまめに行っていただきたいということを指定管理者へ伝えてほしい。
→ 30年度の事業については、改めて指定管理者と調整したい。
- 興風図書館と指定管理者の打合せは、月1回どういう形で行っているのか。
→ 打合せは4館の業務担当者が集まって、月に1回業務担当者会議を行っている。

また、4館の館長が集まって、月に1回館長会議も行っている。

- 苦情については、どこでどのように報告しているのか。
- 業務担当者会議は図書館の業務に関することが主であるので、苦情に関することは月1回の館長会議で情報共有を図っている。
- 4館が集まる会議では個々の図書館の事業や管理の把握がきちんとできないのではないかと。4館で集まって行うことは良い部分もあり必要だが、それだけだとどうしても個々の管理がおろそかになってしまう面もある。いつも4館合同で行っているのか。
- 業務担当者会議も館長会議も4館合同で行っている。
- 4館合同の会議では一般論となってしまうので、個々でやらないと把握できない面もあるのではないかと。そのようなことを踏まえて会議のやり方を工夫してほしい。
- 各館の状況把握については、会議の在り方も含め検討したい。

- 業務報告書10ページの児童・青少年層への読書普及のための取組のコミュニケーションの創出について、中高生にサポーターとして参加していただく方法としては学校との連携や利用者の窓口での案内等が考えられるが、具体的にはどのように対応しているのか。
- 基本的には、南北図書館で先行して取り組んでいた「YAサポーター」をせきやど図書館に展開したもので、主に図書館を利用する生徒に声かけをして参加していただいている。参加生徒とは詳細な打合せを行い、学業に支障を来さない時間で参加していただいている。

なお、現在参加している生徒は、母親が図書館カウンターで図書館サポーターのお知らせチラシに興味を持ち、お子さんに紹介し、参加に至ったものである。
- 「YAサポーター」の参加人数は1人から3人ということだが、これは固定された人が参加しているのか。
- そうである。
- 「YAサポーター」募集のためのポスターを学校に貼ることは難しいのか。
- 図書館が好きでないとサポーターまではなかなかできないので、図書館をよく利用している生徒に声をかけて参加していただくことを主に考えている。
- 可能であれば、もっと「YAサポーター」の募集について学校と話し合いをした方がよい。教育委員会が間に入って、学校教育部と相談しなければならない話である。
- 学校へ要望すれば中高生を呼び込めることもあるので、募集の方法については指定管理者と協議して工夫したい。

- 業務報告書18ページの図書館ご意見箱及びコミュニティ会館ご意見箱の設置について、29年度末現在で意見の回収が0件だが、直近の件数と設置場所を

教えてほしい。また、意見がなかった又は少ない状況について、どのように考えているのを教えてほしい。

→ 件数は、平成30年1月末現在0件である。

設置場所は、せきやど図書館が3階カウンター、関宿コミュニティ会館は4階事務室前の机の上に設置している。意見がないことの理由として、図書館及びコミュニティ会館の運営には不満はないものと考えている。

また、当該施設は複合施設で、施設の維持管理の担当は関宿支所になるため、施設全体への意見は関宿支所に届くようになっているが、関宿支所にも苦情等は届いていないことを確認している。

○ ご意見箱の設置場所は、利用者が気兼ねなく意見を出せるような環境にあるのか。また、図書館とコミュニティ会館の運営に不満はないということだが、果たしてそうなのかはご意見箱だけでは判断できない。利用者のニーズや要望をサービスの向上に結びつける意味から、利用者のニーズをどのように捉えていくのか考えを伺いたい。

→ ご意見箱の設置場所は、本を借りる利用者が必ず立ち寄る図書館の貸出カウンターの目に付きやすい場所に置いている。

また、4階のコミュニティ会館事務室の窓口も、コミュニティ会館の申込みに立ち寄る場所に設置し、気軽に利用できるようにしている。

そのほか、利用者のニーズや要望については、年1回実施しているアンケート調査で把握している。

○ 設置場所は人目に付きやすいところということだが、書いているところを見られてしまうのではないか。

→ 筆記用具は置いてあるが、そこで書かなければならないというわけではないため、用紙を持ち帰って別の場所で書くことは可能である。

また、人の目に付かないところで投函できる方が利用しやすいという考え方もあるが、目に付かない場所ではいたずらをされる恐れがあることから、人目に付かない場所への設置については指定管理者と相談したい。

○ 業務報告書41ページの年度事業報告について、参加人数が10人未満の事業がいくつかあるが、どのように周知したのか教えてほしい。

→ 通常、事業の周知方法としては、市報のお知らせ欄や図書館ホームページ及び市のホームページへのイベント掲載、館内へのポスター掲示、チラシの配布、利用者への声かけを行っている。

参加人数が10人未満の事業は4件であった。

周知方法について、まず1件目の図書館Y Aサポーターの育成は、配架作業など実際に指導するスタッフが一緒に付き添いながら行っており、多くの人数を受け付けることが難しい状況であることから、館内ポスター掲示、チラシ配布及びカウンターでの声かけにより周知している。

2 件目のせきやどシネマフェスタについては、市報のお知らせ欄や図書館ホームページ及び市のホームページへのイベント掲載、館内へのポスター掲示、チラシの配布のほか、利用者への声かけを行った。館所蔵の上映権付き又は著作権承認済みの視聴覚資料や、野田市視聴覚教材ライブラリーの教材を上映して市民の方々にご覧いただく上映会のため、人数制限は特に設けなかったものの、結果的に参加者は10人未満であったため、上映する作品を更に吟味することで、参加者の増加を目指したい。

3 件目の調べる学習支援講座は、市報のお知らせ欄や図書館ホームページ及び市のホームページへのイベント掲載、館内へのポスター掲示、チラシの配布のほか、利用者への声かけも行っている。講師となるボランティアの先生がマンツーマンで教えるため、参加人数を10人に限定して募集した結果、29年度は参加者が4人に留まった。30年度は学校に声をかけて人数枠が埋まるよう努めたい。

4 件目の大人の体験講座「音読で脳をトレーニングしよう」は、市報のお知らせ欄や図書館ホームページ及び市のホームページへのイベント掲載、館内へのポスター掲示、チラシの配布、利用者への声かけを行うとともに、関宿コミュニティ会館を会場に野田市介護予防サポートボランティアの会が定期的に行っている高齢者を対象とした「はつらつサロン」の参加者の方への声かけも行ったが、結果として参加者が10人未満であった。

- 周知をしても人気がない原因を指定管理者はどのように考えているか。
- 参加者数が少なくても読書推進活動における事業として意味があるものについては継続して行っていきたいと考えている。それ以外の参加者が少ない事業については、事業の見直しを行っていききたい。
- 参加人数が少ない事業については周知方法の工夫だけでは根本的に解決できない問題であると思われるので、事業の内容について十分考えていただきたい。
- ご指摘を踏まえ取り組んでまいりたい。
- 業務報告書50ページ収支状況報告書の支出について、給与が予算より増額となる理由を4月より給与改定を行ったと記されているが、最低賃金が上がったから全体的なベースアップとなった等、全体的な方向性について伺っていれば教えてほしい。
- 全体的なベースアップと個々人の昇給による増額であると聞いている。
- 業務計画書5ページの施設の利用促進に向けた取組について、一般利用者向け事業の「本の福袋」は本の貸出しを行うものか。また、福袋にはどのような本を入れているのか。
- 「本の福袋」は、袋に入っている本の中身が分からないようにして複数の本を貸出すものである。袋に入れる本の構成は、図書館スタッフが個々にテーマを発案し、そのテーマに則した本を自館の所蔵から集めて袋に入れている。

- 中身の分からない「本の福袋」は借りにくいと思われるが、利用者へどのような形で勧めているのか。
- 利用者はそれぞれ好きな本があると思うが、いつも利用されている方へは「こういうイベントをやっているの、たまには別の本もいかがですか。」という形で勧めていると聞いている。

- 業務計画書29ページの年度事業計画について、調べる学習支援講座の30年度の対応について先ほど話があったが、29年度に実施した大人の体験講座「音読で脳をトレーニングしよう」が記載されていない。残念ながら参加者は少なかったが、良い企画であると思うので、継続してほしい。
- 大人の体験講座は、30年度も実施する予定であるが、現時点ではテーマが決まっていないため、事業計画の表に掲載しなかった。29年度の大人の体験講座を評価いただいたので、事業計画に加え実施したい。

- 業務計画書29ページの年度事業計画について、「としょかんすごろく」の事業の内容について教えてほしい。
- 「としょかんすごろく」は興風図書館が従来より夏休みに行っている図書館イベントで、30年度からは南・北・せきやどの各図書館も同じイベントを行い、市内全図書館共通のイベントとして子どもたちがどの図書館に行っても楽しめるようにするものである。事業の内容は、本を借りた際にカウンターでくじを引き、出た数字の数だけマス目にスタンプを押したカードを渡し、スタンプが20個になったらゴールとなり、プレゼントを差し上げるというイベントである。
- 何回も借りてもらうことを目的にやっているということか。
- 興風図書館以外の図書館ではスタンプラリーという形でやっていたが、スタンプラリーは読みたい本を読んでもらうというよりも、数を競って借りてしまう傾向があったため、子どもたちにしっかり読んでもらいたいということを考えて興風図書館ではすごろくという形にした。他の図書館でもそういう経緯があったので統一して行うものである。

- 業務計画書全体について、図書館の利用状況が減少している中で、30年度の事業計画において利用率を向上させるための取組や利用者のニーズに応じたサービスの考え方を教えてほしい。
- せきやど図書館の利用状況の減少として考えられる要因としては、関宿地域の人口減少や少子化が根底にあり、また若い主婦層を含めた女性の居住が少ないことも、利用が伸びない一因と考えている。図書館の利用を推し進める対策として、将来の利用者である幼児や児童に、図書館にはこれだけたくさんの本があることを知ってもらう取組を継続的に行っていきたいと考えており、当地にある小学校の先生方に協力いただき、毎年、図書館学校を開催しているが、児童が減少する

中でもあきらめずに継続的に取り組んでいきたい。また、29年度実現した「保育園児の図書館学校」(図書館訪問)もその一つと考えている。

いずれにしても、小さい頃から図書館を利用していただくことが重要と考えており、今後も根気強く継続して実施してまいりたい。

- 子どもをターゲットにして進めていくということであるが、大人や高齢者からのニーズ、例えばこうしてほしい等の利用者からの話はないのか。
- 高齢者からは特にはない。
- 子どもを対象とした今の事業も大切であるが、利用率を上げるためには、地域によっては今住んでいる人の年齢が違ってくると思うので、その辺も見ながら事業展開をしていった方がよいのではないかと思う。
- ご指摘を踏まえ、取り組んでまいりたい。

< 審議の結果 >

平成29年度(4月～12月)野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書、平成30年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について承認

(2) 平成 2 9 年度(4 月 ~ 1 2 月)野田市立南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務報告書、平成 3 0 年度野田市立南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局より平成 2 9 年度(4 月 ~ 1 2 月)野田市立南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務報告書、平成 3 0 年度野田市南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書 6 ページの一般利用者向け事業の実施について、本の福袋の利用者の評判や感想はどのようなものがあったのか。また、利用者の年齢層が分かたら教えてほしい。
 - 利用者からは、「次回はいつやるのか」、「この企画はおもしろかった」などの感想があった。また、利用者の年齢層は、子どもから高齢者まで幅広い方に楽しんでもらっている。回数を重ねていく毎に、地域の方に認知されるようになり、毎回、用意した袋がほぼ全て貸し出されている状況である。
- 本の福袋は評判も良く人気もあるとのことだが、回数を増やす予定はあるのか。
 - 可能であれば増やすことも考えたいが、本の袋詰めや袋ごとにメッセージを書いて入れるなど手間もかかるということで、3 0 年度の計画では 2 回を予定している。
- 業務報告書 4 6 ページの事故、要望及び苦情対応について、重ねて苦情を申し出た利用者の方がいたようだが、今は落ち着いているのか。
 - 最近では来館や電話等による問合せが全く無くなった。今後、動きがあった場合には、興風図書館及び T R C 本社と連携して対応する。
- 市役所にも暴力的な発言の電話がかかってきていたが、脅迫じみた話が出てくれば警察に介入してもらふ必要もあると思うので、その辺りはしっかり情報を共有してほしい。
 - その方と直接やりとりをした際は、興風図書館長が対応したが、警察にも来てもらった。
- 業務計画書 1 9 ページの人員配置について、南・北コミュニティ会館の夜間勤務体制について、2 9 年度の 2 人体制を安全性を確保した上で 1 人体制にする計画だが、4 月から実施するのか、また、安全性の確保はどのように判断するのか。
 - 1 人勤務体制は 4 月 1 日より実施予定である。安全性の確保については、事務室の施錠管理を徹底するとともに、利用者のプライバシーに配慮した形で防犯カメラを設置して防犯対策を講ずるとのことである。なお、防犯カメラの設置に要する経費は指定管理者が負担する。
- 1 人で対応するということになる、その方が体調を崩された場合など緊急事

態の際の対応はどのようになるのか。

→ 緊急事態の際の連絡網が整備されているので、まず館長に電話等で連絡して館長が対応する。遠隔地に居住している館長もいるが、その場合は状況に応じて館長が代替のスタッフを手配し派遣する。

○ 仕様では2人配置しなくても問題はないのか。

→ 仕様書では、2人配置することを必須としていないため問題はない。

○ 業務計画書35ページの年度事業計画について、参加見込人数が10人未満の事業については他の事業を企画した方がよいのではないか。

→ 参加見込み人数が10人未満の事業としては、「大人のための調べ方講座」と「YA図書館サポーター」を予定しているが、「大人のための調べ方講座」は、館内に設置してある3台の図書検索機(OPAC)を使用し、1台を最大2人で利用するため、10人未満の定員で募集を予定している。

また、「YA図書館サポーター」は、配架作業など実際に講師となるスタッフが一緒に付き添いながらマンツーマンで行うことから、多くの人数では対応できないため、10人未満の定員で募集を予定している。

参加者の過多に関わらず、今後の図書館利用促進につながる事業と評価できるものは、継続した実施を考えている。なお、事業については、趣旨が重複するものがないか毎年見直しを行っており、あまりに反響が少ない事業については見直しを行い、また費用対効果も考慮したイベント実施を考えていきたいと考える。

○ 29年度の事業報告を見ると、「YA図書館サポーター」はPOPの作成や本の修理などもあるようなので、それらについてはマンツーマンでなくてもできるのではないかと思ったので、なるべく多くの人が参加できて利用者の拡大になるような事業を実施してほしい。

○ 配架作業もたくさん人が来れば楽になるのではないか。せきやど図書館の同様の事業も含めて、よく検討してほしい。

中・高校生や子ども達が図書館を利用してもらうことは重要なことなので、少しでもサポーターの人数を増やしていけるようお願いしたい。

→ 今後も指定管理者とよく話をしながら根気強く取り組んでまいりたい。

○ 業務計画書48ページの収支計画の支出について、人件費は29年度の決算見込の方が約200万円多くなっている。先ほどのコミュニティ会館の夜間の2人体制を1人体制にするということ以外に人員体制等で何か工夫できる見込みがあるのか教えてほしい。

→ 大きなところでは、コミュニティ会館を2人勤務体制から1人勤務体制への変更で、およそ200万円の削減を見込んでいる。それ以外に更に効率的な勤務シフトを組むことにより、30年度の人件費は予算どおりとなる見込みとのことである。

- コミュニティ会館の夜間の勤務体制の人数変更は仕様上問題ないということか。
- 仕様書では、2人配置することを必須としていないため問題はない。

< 審議の結果 >

平成29年度(4月～12月)野田市立南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務報告書、平成30年度野田市南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務計画書について承認

3 閉会